

いま、子供たちは……

その”心の風景”を探る

◆ 今年は子供の幸せを考える「国際児童年」です。この機会にわたしたちは子供たちの世界を直視し、そのありのままの姿を理解するとともに、新しい親子関係のあり方を見いだしたいものです。

◆ そこで、いま子供たちは、何を考え、どんな将来の希望を持って勉強に、遊びに、毎日の生活を送っているのか、昨年総理府が全国の小学5、6年生と中学生を対象に行った世論調査「子供の意識」をもとに、子供たちの”心の風景”を探ってみました。



悩み・心配ごと

勉強・進学・自分の将来

子供たちは、日ごろどんなことで悩んだり、心配しているのでしょうか。子供たちの胸を痛める”3大悩み”とでもいふべき心配ごとは、1に「勉強のこと」2に「進学(受験)のこと」3に「自分の将来のこと」となっています。

これを学年別に見ますと「いま困ったり、心配していることは何か」との問いに、小学校5、6年生では23%が「勉強のこと」をあげ、中学生では45%が「進学(受験)のこと」と答えています。

これらに次ぐ”悩み”として小学生は「自分の将来」(15%)「進学(受験)のこと」(13%)をあげています。

これが、中学生になりますと「勉強」39%「自分の将来」28%と、それぞれパーセンテージが高くなり、”3大悩み”は高学年になればなるほど深刻にな



っている様子がうかがえます。

ちなみに、中学3年生では、約7割が「進学(受験)」問題で頭を痛めています。このほかでは、小・中学生を合わせた全体で「おこづかいのこと」の20%に次いで「友だちのこと」「健康のこと」がそれぞれ13%と続き、「父・母のこと」(8%)は7番目にやっと顔を出しています。

学校以外の時間の使い方

もつと遊び時間が欲しい

学校に行っている以外の時間を、子供たちはどのように使っているのでしょうか。

ふだんの日の1日平均を見ますと、

テレビを見る	2時間25分
勉強する	1時間36分
遊んでいる	1時間50分

となっています。

そこで、この勉強する時間と遊ぶ時間について、「もっと時間がほしいか」と聞いてみますと、

＜勉強する時間＞

もっと欲しい	31%
欲しくない	62%

＜遊ぶ時間＞

もっと欲しい	63%
欲しくない	33%

となっており、約6割の子供が「勉強する時間は欲しくないが、遊ぶ時間が欲しい」と答えています。また、学習塾や、

けいこごとにどの程度通っているのかと聞いてみると、

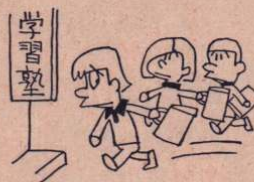
▷学習塾に通う

全体の36%
週2、4回

▷けいこごとに通う

全体の30%
週2、2回

となっており、「遊ぶ時間が欲しい」という子供たちの声が聞こえるようです。



将来の希望

小学生は「野球選手」

中学生は「技術者」

子供たちは、大人になったらどんな職業につきたいと思っているのでしょうか。男女別にみた”希望職業ベスト・フ

イブ”は次の通りです。

＜男子＞①野球選手7%、②会社員(サラリーマン)6%、③商店経営(家業を継ぐを含む)6%、④技術者5%、⑤公務員4%

＜女子＞①母、幼稚園の先生14%、②先生(小・中・高校)10%、③事務員(OL)5%、④看護婦5%、⑤商店経営(家業を継ぐを含む)5%

ただし、学年差によってかなりのバラつきが目立つのもあります。たとえば、男子の場合、小学校5年生では圧倒的に「野球選手」ですが、中学3年生になると上位は技術者、会社員、公務員などで占められ、「野球選手」は大きく後退します。学年が上がるにつれて、より現実的になるためでしょう。

女子の場合も、「母、幼稚園の先生」が小学校5年生では断然トップ(17%)ですが、中学3年生になると約半分(9%)に減り、かわって「事務員(OL)」が増え、両者が肩を並べるようになります。

他人の子供ももしろう

茅 誠司 (国際児童事業推進会議副議長)

西ドイツでの話です。

公園のベンチで、お母さんが編物をしている——そばで遊んでいた子供が、いつのまにか1人歩きをして、少し離れたところで、何かワルさをしたのでしよう。編みかけをわきに置いた母親は、ツカツカと子供のところに歩み寄ってひと言注意したあと、そばにいた年配の男性に「なぜ、しかってこないのですか」と、強い口調でいったというのです。

わが子への愛を世界のどの子にも

これは、国際児童年のスローガンですが、わたしたちは自分の子も、よその子も、同じ”社会の一員”とし、きる、分けへだてたいものです。

わたしは、その人の子供も、自分にかろう”とい



子供は自分の子であるとともに”社会の子”であり、わたしたちも、わが子の親であると同時に”社会の親”であることを、いま一度思い起こしてみることが大切だと思います。

”社会の親”としての発想に立つとき、わたしたちは、他人の子供だからといって無関心でいられるはずがありません。

子供に対する親の愛は当然責任を伴います。子供たちが、社会の一員として立派に成長するよう、きちんとした「しつけ」をすることです。そのためには、わたしたちは、よその子をかろう”気心”を持つことから始めようではありませんか。

5月11日

環境週間

6月5日から環境週間が始まります。これは環境問題について考え、そして実行しようとする週間です。人間の係わり合いの深い生活環境や自然環境にどのような義務と責任をもたねばならないかを考え、今一度、私たちのおかれている環境をふり返ってみたいものです。

市でもこの趣旨に沿って、住みよい美しい街造りのための運動を展開しますが、ご家庭や事業所におかれましても、次のことに一層のご協力をお願いします。

- 1 家屋、事業所周辺の清掃、美化
- 2 事業所における環境公害防止の総点検
- 3 ゴミ不法投棄禁止の周知徹底

長木川クリーンアップ作戦

今年も長木川の清掃を行います。市民の皆さんの参加をお願いします。

と き・6月3日(日)午前8時

(雨天の場合は10日(日)に順延、決行の場合は花火を打上げます。

ところ・長木川の下町橋から花輪線鉄橋までの間
※当日は花の苗や飲物の提供、稚魚の放流などもあります。また、花岡地区、大滝地区、市民の森などでもクリーンアップ作戦が展開されます。

市民対話集会

この集会は、美しい環境づくりはどうあるべきかについて、市民一体となって検討しようとする会です。多数の参集を望んでいます。

日 時・6月16日(土)午後1時30分

場 所・中央公民館

講 師・秋田魁新報社 船山編集委員

大館市長 島山健治郎 他

主 催・長木川をきれいにしよう協議会
大館青年会議所 他

水道週間は、私たちの生活と健康を守る水道の重要性を認識していただき、あわせて水道事業の健全な発展を図るために行われるものです。

近年、全国的に水道をとりまく環境の変化は、大変厳しいものです。水源の確保をはじめ、水質の保全、財政健全化の問題が生じていますが、市水道課では水の安定した供給と近代的な水道施設の建設をめざして、第2次拡張事業に着手し、昨年5月に主要施設の完成とともに新浄水場からの給水を開始しています。

今後とも水道事業へのご理解とご協力をお願いします。

＜水道週間行事＞

・水道施設めぐり

毎日市役所前10時発の貸切バスで案内、2日(土)のみ午後1時30分発、無料です。

・水道作品展

2日、3日の両日中央公民館で開かれます。

水道週間
1～7日